

東海地域の和食文化ネットワークの会員の皆様

◇○▽◇○▽◇○▽◇○▽◇○▽◇○▽◇○▽◇
▽ 東海地域の和食文化メールマガジン ▽
◇ 「東海の和食」第41号（2023年3月24日） ◇
△◇○△◇○△◇○△◇○△◇○△◇○△◇○△

お花見の始まり



日本人は古くからお花見を楽しんでいます。古くは平安時代の貴族が桜を見ながら歌を詠んだり、蹴鞠（けまり）をした行事が始まりのようです。次第に農家が豊作を願って桜の下で宴会をするようになったといいます。庶民がお花見を楽しむようになったのは江戸時代の寛文年間の頃。享保年間には、江戸幕府の第8代将軍徳川吉宗が、飛鳥山や隅田川堤、小金井堤などに数千本の桜を植えて庶民のお花見を奨励しました。この頃から庶民はお弁当を食べながらお花見を楽しみました。

また、お花見に持っていくお菓子のひとつとして、三色団子があります。豊臣秀吉がお花見を催した時、お客様に「食べやすく、かつ女性が喜びそうなかわいいものを」との要望を受けて作られたものが三色団子の由来と言われています。

お花見は江戸時代から400年近く続いているレジャーです。これほど長く楽しまれているイベントはそうそうないでしょう。今年も満開の桜を楽しみたいですね。

（※）「寛文（かんぶん）」（1661～1673年）「享保（きょうほう）」（1716～1736年）は、日本の元号のひとつです。また、「令和」は248番目の元号です。

農林水産省のWebサイトにも桜に関するページがありますので、ぜひご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html> (農林水産省へリンク)

https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/wagohan/articles/2303/spe15_02.html (農林水産省へリンク)

事務局からのお願い

(1) みなさんからの情報をお待ちしています！（掲載記事の募集）

本ネットワークでは、食文化の保護・継承活動に関する情報を発信します。

会員の皆様から、広く発信・共有したい情報等がございましたら、

- ・ タイトル (30字以内)
 - ・ 本文 (300字以内)
 - ・ URL

をご記入の上、本メールに返信願います。

当該メールマガジン及びWebサイトに掲載させていただきます。これを機に会員の皆様方の交流及び情報内容の充実が図られればと思いますので、積極的なご活用をお待ちしております。

(2) 「東海地域の和食文化ネットワーク」の会員募集中！！

東海農政局では、地域における多様な食文化の保護・継承を継続的に進めるため、東海地域（岐阜県・愛知県・三重県）の関係者をつなぐ「東海地域の和食文化ネットワーク」の専用Webサイトを立ち上げ、会員募集をしております。

会員の皆様におかれましては、お知り合いの方にご案内いただけますと幸いです。

<https://www.maff.go.jp/tokai/keiei/shokuhin/bunka/shokunet.html>

（3）バックナンバーのご案内

これまで発行したメールマガジンは、東海農政局Webサイトの以下のアドレスに掲載されていますので、ご活用ください。

<https://www.maff.go.jp/tokai/keiei/shokuhin/bunka/kaihou.html>

東海地域の和食文化ネットワークの事務局

窗口：東海農政局 經營・事業支援部 地域食品・連携課

住所：名古屋市中区三の丸1-2-2

電話：052-223-4602

F A X : 052-201-1703

メールアドレス : wasyokuhunkanw_tokai@maff.go.jp

＜農林水産省のWebサイト（和食文化ネットワーク）＞

<https://www.maff.go.jp/i/keikaku/syokubunka/network/main.html>

(農林水産省ヘリンク)